

Europe Indicators

発表日: 2022 年 9 月 15 日 (木)

欧州経済指標コメント: 8月英国消費者物価

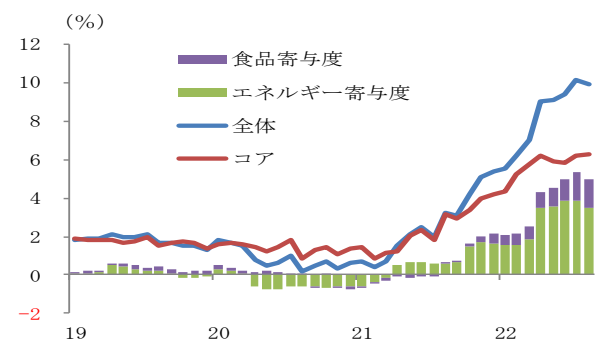
～10 月ピークアウトもコアの高さが気掛かり～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

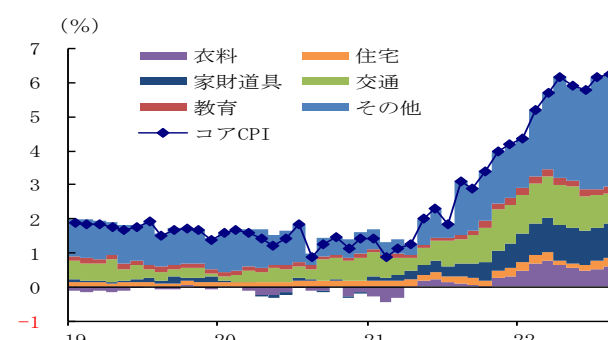
- 14日に発表された8月の英国の消費者物価は前年比+9.9%と、40年振りに2桁台に乗せた前月(同+10.1%)から上昇率がやや鈍化した。食料品(前月: 同+12.6%→同+13.1%)、アルコール(同+2.8%→同+2.9%)、食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除くコア物価(同+6.2%→同+6.3%)の上昇率が加速した一方、エネルギー(同+57.8%→同+52.0%)の上昇率が鈍化(特に自動車燃料)し、ヘッドラインの計数を押し下げた。
- 今月のコア物価の上昇加速を牽引したのは、衣料・履物(同+6.7%→同+7.6%)、医療(同+1.4%→同+2.6%)、航空運賃(同+37.1%→同+40.3%)、パッケージ旅行(同+5.7%→同+10.4%)、外食(同+7.5%→同+8.3%)、理美容(同+5.6%→同+6.6%)、宝飾(同+6.1%→同+7.9%)など。エネルギー価格高騰の余波や経済活動再開による需給逼迫が影響。
- トラス新政権によるエネルギー料金の凍結により、10月から来年前半にかけての物価上昇率の大幅加速は回避される。凍結後のエネルギー料金が反映される10月に消費者物価は同+11%近くに上昇率が加速するが、その後はピークアウト。前日の賃金上昇や今回のコア物価の上昇加速を受け、エリザベス女王死去で22日に延期されたBOEのMPCでは、50bpの追加利上げを予想する。

■英国: 消費者物価の推移 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: 英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

■英国: コア消費者物価の要因分解 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: 英統計局

■英国の消費者物価 (%)

		2021				2022				2022							
		3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
消費者物価	(前期比)	1.1	2.2	1.4	4.3	1.1	0.7	0.5	-0.1	0.8	1.1	2.5	0.7	0.8	0.6	0.5	
	(前年比)	2.8	4.9	6.2	9.2	4.2	5.1	5.4	5.5	6.2	7.0	9.0	9.1	9.4	10.1	9.9	
コア消費者物価	(前年比)	2.6	3.9	5.1	6.0	3.4	4.0	4.2	4.4	5.2	5.7	6.2	5.9	5.8	6.2	6.3	
食料品	(前年比)	0.2	2.6	5.1	8.3	1.2	2.5	4.2	4.3	5.1	5.9	6.7	8.6	9.8	12.6	13.1	
アルコール	(前年比)	1.5	2.3	1.8	1.3	1.2	2.7	3.0	1.4	1.5	2.5	1.2	1.7	1.2	2.8	2.9	
たばこ	(前年比)	2.7	4.7	6.0	8.2	2.4	6.8	4.8	5.1	5.7	7.1	7.8	8.5	8.3	8.1	8.1	
エネルギー	(前年比)	9.4	24.1	24.5	54.1	22.3	25.6	24.5	23.2	22.7	27.6	52.1	52.8	57.3	57.8	52.0	
住宅用燃料	(前年比)	2.7	23.0	23.6	69.9	22.9	23.2	22.7	22.9	23.1	24.8	69.6	69.9	70.2	70.3	69.7	
自動車燃料	(前年比)	17.8	25.6	25.6	35.6	21.5	28.5	26.8	23.6	22.3	30.7	31.4	32.8	42.3	43.7	32.1	

注: 消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: 英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

